

県条例により公表している侵略的外来生物の概要(88種)

(平成21年4月1日公表)

No	分類群	科名	種名	原産地の区分		定着の有無	影響の有無	影響の種類					定着の可能性	実態別区分	備考		
				国外	国内 不明			1 在来種の捕食	2 植生などへの影響	3 競合・駆逐の可能性	4 交雑による遺伝的攪乱	5 病気・寄生虫の媒介			要注意外来生物	日本リスト100	世界リスト100
1	哺乳類	ウサギ科	ヨーロッパアナウサギ	国内	不明	2	1						2				
2		イタチ科	シベリアイタチ(チョウセンイタチ)	国外	アジア	1	1						3				
3		イタチ科	フェレット	国外	ヨーロッパ	2	1						2				
4		イヌ科	キタキツネ	国内	北海道	2	1						2				
5		イヌ科	ギンギツネ	国外	不明	2	1						2				
6		リス科	チョウセンシマリス	国外	アジア	2	1						2				
7		リス科	プレーリードッグ属	国外	北アメリカ	2	1						2				
8		ウシ科	ヤギ	国内	不明	1	1						3				
9	鳥類	キジ科	インドクジャク	国外	アジア	2	1						1				
10		キジ科	コウライキジ	国内	アジア	2	1						1				
11		チメドリ科	ヒゲガビチョウ	国外	アジア	1	1						3				
12	両生・爬虫類	ヒバ科	アフリカツメガエル	国外	アフリカ	2	1						1				
13		ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	国外	北中南米	1	1						3				
14		カミツキガメ科	ワニガメ	国外	北アメリカ	2	1						1				
15	昆虫類	アメンボ科	トガリアメンボ	国外	アジア	1	1						3				
16		カメムシ科	キマダラカメムシ	国外	アジア	2	1						1				
17		グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ	国外	北アメリカ	1	1						3				
18		グンバイムシ科	ブラタナスグンバイ	国外	北アメリカ	1	1						3				
19		グンバイムシ科	ヘクソカズラグンバイ	国外	アジア	1	1						3				
20		サンガメ科	ヨコソナサシガメ	国外	アジア	1	1						3				
21		クワガタムシ科	オオクワガタ東南アジア産亜種	国外	アジア	2	1						2				
22		クワガタムシ科	ヒラタクワガタ東南アジア産亜種	国外	アジア	2	1						2				
23		ゾウムシ科	アルファルファタコゾウムシ	国外	ヨーロッパ	1	1						3				
24		ハムシ科	ブタクサハムシ	国外	北アメリカ	1	1						3				
25	ホソヒラタムシ科	ジャバホソヒラタムシ	国外	アジア	1	1						3					
26	イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	国外	アジア	1	1						3					
27	ヒトリガ科	アメリカシロヒトリ	国外	北アメリカ	1	1						3					
28	貝類	イガイ科	ムラサキイガイ	国外	ヨーロッパ	1	1						3				
29		シジミ科	タイワンシジミ	国外	アジア	1	1						3				
30		マルスダレガイ科	シナハマグリ	国外	アジア	2	1						1				
31		タマガイ科	サキグロタマツメタ	国外	アジア	2	1						1				
32	コウラナメクジ科	チャコウラナメクジ	国外	ヨーロッパ	1	1						3					
33	カリバガサガイ科	シマメノウフネガイ	国外	北アメリカ	1	1						3					
34	サカマキガイ科	サカマキガイ	国外	ヨーロッパ	1	1						3					
35	海産動物	クモガニ科	イッカククモガニ	国外	北アメリカ	2	1						1				
36		カンザシゴカイ科	カサネカンザシ	国外	不明	1	1						3				
37		フジツボ科	タデジマフジツボ	国外	不明	1	1						3				
38	魚類	コイ科	ソウギョ	国外	アジア	3	1						2				
39		コイ科	タイリクバラタナゴ	国外	アジア	1	1						3				
40		コイ科	ハス	国内	本州	1	1						3				
41		コイ科	ムギツク	国内	本州	2	1						1				
42		ドジョウ科	カラドジョウ	国外	アジア	1	1						3				
43		ケツギョ科	オヤニラミ	国内	本州	2	1						1				
44		スズキ科	タイリクスズキ	国外	アジア	2	1						2				
45	タイワンドジョウ科	カムルチー	国外	アジア	2	1						3					
46	タイワンドジョウ科	コウタイ	国外	アジア	3	1						1					

No	科名	種名	原産地の区分		定着の有無	影響の有無	影響の種類					定着の可能性	実態別区分	備考			
			国外	国内 不明			1 在来種の捕食	2 植生などへの影響	3 競合・駆逐の可能性	4 交雑による遺伝的攪乱	5 病気・寄生虫の媒介			要注意外来生物	日本リスト100	世界リスト100	
47	魚類	タイワンドジョウ科	タイワンドジョウ	国外	アジア	2	1						1				
48		ハゼ科	ビワヨシノボリ	国内	本州	2	1							1			
49	高等植物	アカウキクサ科	外来アソラ類	国外	不明	1	1	○	○					3			
50		サンショウモ科	オオサンショウモ	国外	アジア	2	1							1			
51		アブラナ科	オランダガラシ	国外	ヨーロッパ	1	1							2			
52		アブラナ科	セイヨウアブラナ	国外	ヨーロッパ	1	1							2			
53		アブラナ科	セイヨウカラシナ(カラシナ)	国外	ヨーロッパ	1	1							2			
54		ウコギ科	カミヤツデ	国外	アジア	1	1							1			
55		オオバコ科	ヘラオオバコ	国外	ヨーロッパ	1	1							3			
56		キク科	アメリカセンダングサ	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○		
57		キク科	オオアレチノギク	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○	○	
58		キク科	オオオナモミ	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○	○	
59		キク科	オオバクサ	国外	北アメリカ	1	1							1			
60		キク科	外来タンポポ類	国外	ヨーロッパ	1	1	○	○					3	○	○	
61		キク科	コセンダングサ	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○		
62		キク科	セイタカアワダチソウ	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○	○	
63		キク科	ハルジオン	国外	北アメリカ	1	1	○						3	○	○	
64		キク科	ヒメジョオン	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○	○	
65		キク科	ヒメムカシヨモギ	国外	北アメリカ	1	1	○	○					3	○		
66		キク科	ブタクサ	国外	北アメリカ	1	1							1			
67		キク科	ブタナ	国外	ヨーロッパ	1	1	○	○					1	○		
68		キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	国外	南ヨーロッパ	1	1	○	○					2			
69	クマツヅラ科	ランタナ	国外	南アメリカ	2	1	○	○			○		2	○		○	
70	ケシ科	アツミゲシ	国外	地中海沿岸	2	1		○			○		1				
71	タデ科	オオイトドリ	国内	北海道, 本州	1	1							2				
72	トウダイグサ科	シナアブラギリ	国外	中国	1	1	○						2				
73	ネナシカズラ科	アメリカネナシカズラ	国外	北アメリカ	1	1							3				
74	ハゴロモモ科	ハゴロモモ	国外	北アメリカ	3	1							2				
75	ヒルガオ科	外来ノアサガオ類	国外	不明	2	1	○				○		2				
76	マタタビ科	キウイ	国外	中国	2	1	○				○		2				
77	マメ科	イタチハギ	国外	北アメリカ	1	1							2				
78	マメ科	ハリエンジュ(ニセアカシア)	国外	北アメリカ	1	1							2				
79	モウセンゴケ科	外来モウセンゴケ	国外	不明	3	1		○			○		1				
80	モクセイ科	トウネズミモチ	国外	アジア	2	1							2				
81	イネ科	キシウスズメノヒエ	国外	東南アジア - 北アメリカ	1	1							3				
82	イネ科	シナダレスズメガヤ	国外	南アフリカ	1	1	○	○					3	○	○		
83	イネ科	メリケンカルカヤ	国外	北米, 中央アメリカ	1	1							3				
84	ツククサ科	ノハカタカラクサ	国外	南アメリカ	1	1	○	○					3	○			
85	トチカガミ科	オオカナダモ	国外	南アメリカ	1	1							3				
86	トチカガミ科	コカナダモ	国外	北アメリカ	1	1							3				
87	ミスアオイ科	ホテイアオイ	国外	南アメリカ	1	1							3				
88	ユリ科	タカサゴユリ	国外	アジア	1	1							3				

(注) 1 「定着の有無」の欄について、定着しているときは「1」、不明又ははっきりしないときは「2」、定着していないときは「3」  
2 「影響の有無」の欄について、影響等が報告されている又は懸念されているときは「1」、それ以外のときは「2」  
3 「実態別区分」の欄については、次のとおり  
「1」県内で定着していない又は不明であるが、野外での確認事例がある又は導入される可能性があるもの  
「2」県内で各種用途に利用されている種であって、逸出すれば野生化するおそれがあるもの  
「3」県内で野生化しているもの